

## インターバンクの声（2015年10月19日）

ロンドン、ニューヨーク市場が開いている時間帯に発表される経済指標は、米雇用統計のように市場参加者すべてが注目している指標なら問題ないが、指標によっては反応がある時と全く無視される時があるので厄介だ。先週の金曜日は、特に目立つような材料があったわけではないが、ミシガン大学消費者信頼感指数速報値が前月の87.2から92.1へ上昇した結果発表後は確かに為替市場ではドルが強含んだ。4ヵ月ぶりにプラスに転じたことと前日の消費者物価指数のコア指数が予想よりも堅調となっていたことがいつもより注目された理由だったようだ。市場のリスクセンチメントが改善したもう一つの理由は、ゼネラル・エレクトリックの決算が好調だったことのように。今回の7-9月期の企業決算は総じて、原油安、ドル高、中国経済の減速懸念などによる大幅な収益悪化が予想されていたが、これまでは予想ほど悪くなく、今週以降に発表される大手企業の数字も心配されたような結果でなければ、これもまた年内の利上げの可能性を再び広げる材料になるかも知れない。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。